

10月

ロジスティクス強調月間 2018

これからのロジスティクスのあるべき姿
～危機を乗り越え、第4次産業革命で未来を創る～

関西物流改善事例 発表会 2018

テーマ: 現場力で環境変化に対応する

徹底したコスト削減を実現した改善事例、
お金をかけずに成果を得た改善事例などの
優れた事例が10件発表されます。

会期: **10月24日(水)10:00~16:20**

会場: **アートホテル大阪ベイタワー**
アートグランドボールルーム(大阪市港区)

定員: **300名**

主催: 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人日本物流資格士会西日本委員会

ロジスティクス強調月間2018サポーター 一覧

株式会社IHI	トランスコスモス株式会社
アサヒビール株式会社	日本通運株式会社
株式会社NTTロジスコ	日本電気株式会社
株式会社オカムラ	一般社団法人日本海事検定協会
花王株式会社	日本貨物鉄道株式会社(JR貨物)
鹿島建設株式会社	株式会社日本能率協会コンサルティング
カスケード(ジャパン)リミテッド	富士通株式会社
株式会社サーガ	株式会社フジトランス コーポレーション
サカタウエアハウス株式会社	北王流通株式会社
サンコーインダストリー株式会社	ホンダロジコム株式会社
サントリーホールディングス株式会社	三井倉庫株式会社
株式会社住友倉庫	三菱商事株式会社
センコーグループホールディングス株式会社	三菱倉庫株式会社
ダイシン物流株式会社	村田機械株式会社
株式会社ダイフク	矢崎エナジーシステム株式会社
株式会社チクブパッカーシステム	ヤマエ久野株式会社
東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	リコーロジスティクス株式会社
トヨタ自動車株式会社	月刊マテリアルフロア
株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	月刊ロジスティクス・ビジネス

関西物流改善事例発表会 2018

開催にあたって



関西物流改善事例発表会2018
実行委員会

委員長 **牧 邦彦**

ワコール流通株式会社 代表取締役社長

企業経営を取り巻く環境は、経済のグローバル化の一層の進展にともなう国際競争の激化、少子高齢化の進行、Eコマースを筆頭としたオムニチャネルへの対応など、構造的な問題として取組まなければならない課題が山積しており、難しい局面にあります。

そのようななか、産業界では、第4次産業革命として、IoT、BD、AIなどを駆使した、新たな価値の創出や劇的な生産性の向上を図るためのビジネスモデルが積極的に検討されております。

物流業界においては、多頻度小口化や即日配送などの高度な物流サービスが求められています。その一方、トラックドライバーや物流現場の作業員など労働力不足が大きな課題となっています。モノが運べない「物流危機」が顕在化し、今や経営者の重要な関心事項として認識されるとともに、社会問題化しております。

このような厳しい物流環境を克服するためにも、物流現場においては経営環境や市場環境の変化などをいち早く察知し、現場が自発的に率先して考え改善する「物流の現場力」の強化が求められています。

当協会は、創立以来、毎年10月を「ロジスティクス強調月間」として定め、東京、名古屋、大阪、福岡でロジスティクスの啓発、普及活動を展開しております。

本年度は「これからのロジスティクスのあるべき姿～危機を乗り越え、第4次産業革命で未来を創る～」を統一テーマとして、38機関のサポートのもとに活動を実施いたします。

そこで、当協会の関西支部では、ロジスティクス強調月間の一環として、ロジスティクスの高度化に寄与する物流現場の改善活動に焦点をあて、一般社団法人日本物流資格士会西日本委員会との共催による「関西物流改善事例発表会2018」を開催いたします。

本発表会では、「現場力で環境変化に対応する」をテーマに、10件の優秀な企業事例を発表いただきます。とくに、今回のプログラムは、現場担当者が知恵を絞り改善活動を推進し、顧客サービス、物流品質、生産性の向上、コスト削減や環境負荷低減などに大きな成果をあげられた企業事例で構成されております。

また、特別講演の講師として、シーオス株式会社 代表取締役社長 松島 聡 氏をお迎えし、「IoT、AI、ロボティクスを活用したロジスティクス・ソリューション」をテーマに、ロジスティクスにおける先進技術の現状、今後の動向ならびに活用事例等について、ご講演いただきます。

本発表会が企業事例を通じ、物流現場における課題解決の手がかりや、改善ノウハウおよび物流の高度化、労働力不足解決のヒントを得られる機会であると確信いたしております。また、物流現場改善の実務者同士が一同に会する情報交流の場となることも期待いたしております。

つきましては、本発表会に積極的にご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本物流資格士会は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会およびその前身の団体の下で養成された、物流スペシャリストである「物流技術管理士」「国際物流管理士」「物流管理士」「物流現場改善士」による組織です。わが国唯一の物流スペシャリスト資格者による交流組織で、会員の相互研鑽ならびに物流に関する知識と技術の向上を図ると共に、関連諸機関と連携して物流の合理化を推進することを目的としています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、物流の現場力の強化を目的に「物流現場改善推進のための手引書」を作成いたしました。詳細およびダウンロードは、『物流現場改善推進』で検索し、協会HPまでアクセスしてください。

10:00 ～ 10:10	開会 挨拶	牧 邦彦 関西物流改善事例発表会2018 実行委員会委員長 ワコール流通株式会社 代表取締役社長	
10:10 ～ 10:30		これからのロジスティクスのあるべき姿 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事	橋爪 茂久
10:30 ～ 10:50	発表 1	魚眼カメラ活用による 物流品質向上に向けた取り組み 株式会社ケー・シー・エス 営業推進部2グループ	森本 豪 氏 コンビニエンスストア向け食品の庫内仕分け作業において、欠品、返品削減に取り組んだ。今までは、欠品の原因は推測するしかなかったが、魚眼カメラを導入することで、原因特定ができるようになった。魚眼カメラ導入により、欠品率は約17%削減、返品率は約13%削減の成果をあげた。 取扱商材:コンビニエンスストア向け食品
10:50 ～ 11:10	発表 2	クリアランス月(6月・12月)における 出庫業務の効率向上の施策 株式会社インテクスト 商品管理 リーダー	稲垣 吉隆 氏 店舗でのクリアランス商品消化率アップ(返品数削減)のため、年々クリアランス月(6・12月)の出庫ロットが小さくなり、作業効率が上がらなくなってきていた。そこで小ロットの出庫に対応するため、商品の置き方・出庫方法を工夫し出庫の効率化を進めた。その結果、2年前と比較し生産性が6%向上した。 取扱商材:靴下
11:10 ～ 11:30	発表 3	荷役業務における 工数削減の取り組み 三愛ロジスティクス株式会社 中四国営業部 四国物流課 愛媛営業所	大西 規子 氏 四国地区の3拠点において、2016年7月から新規事業として、福祉用具レンタル卸事業を行う企業の荷役業務を担っている。作業負荷が大きい入庫業務に絞り、3拠点全体の業務の効率化を図った。商品別出庫状況の調査のうえ出庫頻度に適したレイアウトへの変更、カゴ車の表示ルールを全拠点統一化などに取り組んだ結果、格納工数15%削減に成功した。また、顧客満足度も向上させることができた。 取扱商材:介護福祉用具
昼休み(60分)			
12:30 ～ 12:50	発表 4	ラッピングトラック導入による 安全運転の取り組み ～こどもミュージアムプロジェクト～ 株式会社宮田運輸 代表取締役社長	宮田 博文 氏 トラック事故の撲滅が大きな課題となっていた。そこで、ドライバーの安全運転を推進する施策として、こども達が描いた可愛い絵やメッセージをトラックにラッピングし、事故撲滅の啓発を行った。ドライバーの「事故を起こしたくない」という気持ちに訴えかけ、事故率が3年間で約5%削減できた。また、こどもミュージアムプロジェクトとして、現在、67社、207台のミュージアム号(ラッピングトラック)が全国を走っている。 取扱商材:ラッピングトラック
12:50 ～ 13:10	発表 5	スポーツ・紳士・マタニティ・ 子供用品の返品再生業務 生産性向上 ワコール流通株式会社 伏見流通センター チーフ 伏見流通センター キャップ	宮井 絵美 氏 相坂あゆみ 氏 取扱い商材の8割は婦人インナー商材であるが残りの2割はナイトウェア・子供肌着・マタニティ・スポーツ用品・紳士用品・介護用品・雑貨等を扱っている。その中でパッケージや包装が複雑であり極めて生産性の低い商材に焦点をあて、作業内容の見直しを行った。①重複作業の廃止②無駄な作業の抽出と廃止③レイアウト変更④作業の標準化を実施した結果、生産性が前年対比127%に向上した。 取扱商材:ウエルネス(スポーツ用品)、メンズ(紳士用品)、ファミリー(子供肌着・マタニティ商材)
13:10 ～ 13:30	発表 6	品質ヒヤリハット削減に取り組み、 顧客流出クレームのゼロ化を達成 ケービーエスクボタ株式会社 札幌物流センター	山田 真哉 氏 顧客クレームとなったサービス部品誤出荷の陰にはクレームに至らなかった品質ヒヤリハットが存在していた。クレームだけでなくこの品質ヒヤリハット削減にも取り組み、事象の分析、なぜなぜの繰り返しなどメンバーのアイデアも活かしながら対策を実施した。その結果、2017年度、約21万件のサービス部品出荷件数に対し、その年の後半には、誤出荷クレームゼロ、品質ヒヤリハット半減を実現することができた。 取扱商材:農業、建設機械のサービス部品

13:30 ～ 13:50	発表 7	情報集約によるWMSの進化 ～最適在庫マネジメントから エンドユーザーへの配送品質管理まで～ 株式会社リブドゥコーポレーション SCMロジスティクス部 運営管理課 藤原 嘉倫 氏	WMS更新を機に標準的な倉庫管理機能に新たな視点での要件を付加し、業務の見える化・標準化・効率化の実現を目指した。なかでも、①工場倉庫に余裕がない状況での外部倉庫への移送計画の自動生成②エンドユーザーに至る全プロセスでのロットレーサビリティ精度の向上③稀に発生する物流不備の「事象」連絡、「原因」報告、「根治対策」報告と承認のリアルタイム一斉共有、を重点課題としつつ、上位目的をあくまで「顧客満足の上につなげる新WMSの開発」に据えてシステム構築し運用開始した。定量的な改善結果の代表例としては、移送計画策定に要する作業で月間延べ308時間の削減となった。 取扱商材：介護用おむつ
休憩(10分)			
14:00 ～ 14:20	発表 8	スペース効率向上を図り、 水岩ロジスティクスとしての 業務拡大を目指す 水岩ロジスティクス株式会社 大阪流通センター 商品管理課 係長 端本 隆博 氏	新規の通販業務を開始するため200坪のスペース確保が急務となっていた。そのため、既存業務のレイアウトならびに業務フローの見直しを実施した。今まで2フロアで作業していたが、見直しをきっかけに1フロアで入荷から出荷まで一気通貫で完結できるよう変更した。その結果、1フロアでの作業完結により移動時間が短縮(20時間/月)、ならびに新規事業のスペースも確保することができた。 取扱商材：女性インナーウェア
14:20 ～ 14:40	発表 9	ドライバーの納品待機時間・付帯 作業の改善による「労働環境改 善」と「車両生産性」の向上 サンスターグループ STARLECS株式会社 SCM部 物流企画チーム 佐々木 幸恵 氏	トラックの積み降ろし時に発生する『待機や付帯作業によるドライバーの長時間労働』が社会的にも社内的にも大きな課題となっていた。そこで、「ドライバーの労働環境・拘束時間・トラック回転率」の改善を目的に、発・着荷主・物流会社が連携して、①納品先フロア別ピッキング、②入荷製品情報(ASN)送信、③IoT納品時間予約、④一貫パレチゼーション、⑤パレットRFIDでの自動検品、等を実施したことで、積み降ろしと待機の合計時間340分を70分に削減することに成功した。 取扱商材：一般消費財
14:40 ～ 15:00	発表 10	事業環境の変化への対応を目指した 作業生産性の向上と収支の改善 サカタウエアハウス株式会社 営業開発部 フェロー 吉井 宏治 氏 (第23期物流技術管理士)	労働力不足への対応が急務となっており、「カイゼンプロジェクト」を立ち上げ、生産性向上、作業収支カイゼンを目標に改善活動を積み重ねた。まず、ストック在庫運用改善では、①空きロケーションの見える化②ABC分析による商品配置の見直しなどを実施。バラ出荷作業運用改善として、①ボイスピッキングシステムの導入②OCR検品システムの導入③梱包作業の見直しなどを実施。その結果、作業生産性が向上し、作業時間の短縮、残業削減により30%以上の利益率向上による作業収支の改善を図ることができた。 取扱商材：化粧品
15:00 ～ 15:05	各発表者に記念品贈呈		
休憩(10分)			
15:15 ～ 16:15	特別 講演	IoT、AI、ロボティクスを活用したロジスティクス・ソリューション ・ロジスティクスを取り巻く環境の変化 ・物流業におけるデジタル化と事例 シーオス株式会社 代表取締役社長 松島 聡 氏 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 略歴 1992年 アンダーセンコンサルティング入社(現アクセンチュア) 2000年 メディカルストリーム(現シーオス株式会社)設立 代表取締役社長就任 2005年(～現在) 東京薬科大学理事/財務委員長/IT委員長 2006年 シーオス株式会社に社名変更 </div>	
16:15 ～ 16:20	閉会 挨拶	石寺 勝秀 関西物流改善事例発表会2018 実行委員会 委員 一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長	

開催概要

名称 関西物流改善事例発表会2018

目的 サプライチェーンマネジメント、ロジスティクスを効果的に機能させ、企業価値を高めるためには、経営その他の環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する「物流の現場力」の強化が欠かせない。
 関西物流改善事例発表会2018は、物流現場の改善事例を広く募集し、その発表を通じて、物流改善活動の更なる活性化を促進することを目的とする。そして、顧客サービス、物流品質、生産性の向上、物流の高度化および労働力不足の解決の手がかりやヒントを参加者と発表者として共有する。

テーマ 現場力で環境変化に対応する

会期 2018年10月24日(水)

会場 アートホテル大阪ベイタワー
 アートグランドボールルーム
 (大阪市港区)

主催 公益社団法人
 日本ロジスティクスシステム協会
 一般社団法人
 日本物流資格士会西日本委員会

企画運営 関西物流改善事例発表会
 2018実行委員会

事務局 公益社団法人
 日本ロジスティクスシステム協会関西支部
 〒530-000 大阪市北区梅田2-2-22
 ハービスENTオフィスタワー19F
 TEL.06-4797-2070 FAX.06-4797-2071

実行委員会 委員一覧

委員長	牧 邦彦	ワコール流通(株) 代表取締役社長
副委員長	高田 充康	オムロン住倉ロジスティック(株) 代表取締役社長
	望月 彰	間口ホールディングス(株) 執行役員
委員	若林 秀樹	アサヒロジ(株) 近畿圏支社 吹田支店 支店長
	安田 義浩	(株)NTTロジスコ 八尾物流センタ 次長
	勝田 光雄	ケービーエスコポタ(株) 取締役 企画部長
	兵庫 正能	コイズミ物流(株) 事業本部 営業開発課 課長
	太期 健仁	ココサププライロジスティクス(株) CSオペレーション部 CS推進ユニット 近畿IDC 副統括所長
	正木 博	佐川グローバルロジスティクス(株) 大阪支店 支店長
	佐久間慎二	JILSアドバイザー (元トヨタ部品大阪共販(株) 常務取締役)
	秋山 政泰	センコーグループホールディングス(株) 人材教育部 部長
	武田 重治	ダイキン工業(株) 物流本部 物流技術センター 室長
	島田 龍彦	ダイセル物流(株) 安全品質推進部長
	植松 仁志	大和物流(株) 環境エネルギー物流事業部 環境エネルギー物流グループ 担当課長
	北村 隆之	(株)椿本チエイン マテハン事業部 流通ビジネス部 SE課 課長
	中原 明敏	西日本エア・ウォーター物流(株) 物流事業部事業企画担当 兼 営業推進担当部長
	石村 俊介	日本通運(株) 関西営業開発部 次長
	石寺 勝秀	(一社)日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長
	篠原 和豊	(一社)日本物流資格士会 西日本委員会 委員
	木原 栄敏	(株)日立物流 西日本統括部 事業企画部 部長
	中西 学	富士運輸(株) 常務取締役(営業本部担当)
	三井 宏之	(株)フリゴ 物流事業担当 執行役員
	桑波田吉広	山村ロジスティクス(株) 営業本部長
	蛭間 博信	リコーロジスティクス(株) 執行役員 関西事業部長
	平野 幸一	レンゴーロジスティクス(株) 運輸本部 運輸部 調達部 部長

会場案内



アートホテル大阪ベイタワー (旧ホテル大阪ベイタワー)

〒552-0007
 大阪府大阪市港区弁天1-2-1
 TEL.06-6577-1111

【交通案内】
 JR大阪環状線・大阪メトロ中央線
 「弁天町」駅直結

参加料規定 (消費税込み)		※消費税は8%です。
	参加料	1社から3名以上参加の場合 (3名様以降の参加料)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本物流資格士会 会員	16,200 円/1名	10,800 円/1名
上記会員外	24,840 円/1名	20,520 円/1名

※上記料金には、テキスト代が含まれています。昼食代は含まれておりません。
 ※1社から3名以上参加の場合は、一括でお申込みください。
 ※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および講演内容の録音はご遠慮ください。

◆有資格者優待 (フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格*をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。

◇ フォローアッププログラム参加料 (消費税込)10,800円
 (注)フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

申込欄の該当保有資格にチェックをして下さい。
 ※ロジスティクス経営士 (経営)、国際物流管理士 (国際)、グリーンロジスティクス管理士 (グリーン)、物流技術管理士 (物流)、物流現場改善士 (改善)

参加申込締切日

- 2018年10月23日(火)

参加定員

- 300名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 先着順に受け付けいたします。
- 開催間近のお申し込みについては、事務局へお問い合わせください。
- 定員に余裕のある場合のみ当日受付も行いますので、事前に事務局にご確認のうえ、直接会場受付へ申込書または名刺をご持参ください。後日請求書をお送りいたします。

参加申込方法

- 下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXまたは郵送にて事務局までお申し込みください。
- 参加者へ「参加証」と「請求書」を参加日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- 開催間近のお申し込みについては、参加証をFAXにてお送りいたします。

参加料支払方法

- 請求書を発行いたしますので、指定の銀行口座にお振り込みください。
 ※当日現金のお取り扱いにはいたしておりませんのでご了承ください。
 - お支払いは、原則として開催前日までにお願ひ申しあげます。
 (開催後になる場合は、支払予定欄に明記してください。)
 - 振込手数料は、お客様にてご負担願ひます。
- 【お願い】
- 参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けれますので、あらかじめご了承ください。
- 【キャンセル規定】
- (注)キャンセルは、FAXでのご連絡のみ申し受けます。
 - 開催7日前～前々日(開催日を含まず起算) …参加料(消費税を除く)の30%
 - 開催前日および当日 …参加料(原則として消費税を除く)の全額

参加申込先/プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
 TEL. 06-4797-2070 FAX. 06-4797-2071

関西物流改善事例発表会2018

開催期日
2018年10月24日(水)

支払予定日 月 日払い

フリガナ
会社名

【日本物流資格士会 石寺 様ご紹介】

事業所名	□会 員 □会員外		保有資格
フリガナ 氏名1	所 属 役職名		<input type="checkbox"/> 経 営 <input type="checkbox"/> 国 際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物 流 <input type="checkbox"/> 改 善
勤務先 住 所	〒 - - 都道 府県		取得期 期
TEL	FAX	- -	
E-mail			
フリガナ 氏名2	所 属 役職名		<input type="checkbox"/> 経 営 <input type="checkbox"/> 国 際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物 流 <input type="checkbox"/> 改 善
勤務先 住 所	〒 - - 都道 府県		取得期 期
TEL	FAX	- -	
E-mail			
フリガナ 氏名3	所 属 役職名		<input type="checkbox"/> 経 営 <input type="checkbox"/> 国 際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物 流 <input type="checkbox"/> 改 善
勤務先 住 所	〒 - - 都道 府県		取得期 期
TEL	FAX	- -	
E-mail			
フリガナ 氏名4	所 属 役職名		<input type="checkbox"/> 経 営 <input type="checkbox"/> 国 際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物 流 <input type="checkbox"/> 改 善
勤務先 住 所	〒 - - 都道 府県		取得期 期
TEL	FAX	- -	
E-mail			
参加料合計	名 円		協会への連絡事項
※参加証、請求書は原則として合計金額を最上段(氏名1)の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。			KA-1840